

令和 6 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（1 1 4） 学校名 豊田市立逢妻中学校

1 テーマ

「人とのかかわりの中で生徒を育てる」

～様々な人とのかかわりを通して校訓を具現する～

2 ねらい

本校は、校訓「至誠、知性、活力」のもと、「誇れる逢妻」をスローガンに掲げ、活気・規律・感動のある学校づくりをめざしている。大規模校であるものの、活気と温かみのある落ち着いた学校である。特に、「特色ある学校づくりの推進」を継続してきたことにより、集団生活をしていく中での人間関係の正常化が進んでいる。

そこで、生徒一人一人がより安心して学校生活を営んでいくために、「人は人とのかかわりの中で育つ」という視点を軸にした「人とのかかわりを大切にした教育」の継続が、本校の教育活動には不可欠と考える。様々な取組の中で体験的な活動の質を高めることも重視したい。中でも、地域講師の方や他団体との心のつながりを重視した活動は、今年も継続して実践していく。具体的には、各学年の総合的な学習の時間（A・T＝逢妻タイム）を中心に、地域との交流を一層充実させることにより、さらに前向きで落ち着きのある生徒を育成する。

3 活動内容

- （1）キャリア教育などに関して専門的な知識や経験をもった方々の話を伺う機会を設定し、自己の生き方、将来の夢や職業、働くことの意義についての考えを深める。
- （2）各種の体験活動の支援や指導を地域の方に依頼し、ものづくりの楽しさや人とのかかわり合いを深めたり、自己の伸長に役立てたりする。
- （3）自分とは立場の異なる、職業人、障がいのある人、地域の人々等の交流を通して、ものの見方や考え方、社会性を学ぶことにより、人とのかかわりの大切さを学ぶ。
- （4）進路についての話を聞く機会を設定し、自分の進路選択の一助とする。

4 成果と課題

1 年生総合的な学習の時間の福祉学習で、様々な事業所訪問の中の一つとして豊田特別支援学校と交流を行った。昨年度まではコロナの影響もあり、ZOOM での交流や代表者による訪問など限定的な交流であったが、今年度は 1 年生の一つのクラスが豊田特別支援学校を直接訪問し、生徒が考えたゲームで遊びながら交流をした。

障がいのある同年代の生徒たちと、直接ふれ合うことでしか得られない貴重な学びの時間となった。

特別支援学級は農作業の活動を通して、お互いに声を掛け合って作業をしたり、近所の方に声をかけてもらったりするなど、周りの人とのつながりを深めた活動となった。

これらの活動を通して、前向きで温かい生徒が多くなってきた。生徒による地域でのボランティア活動の募集で、常に定員を上回る希望者が出るなど、「逢妻が好きで地域のために何かしたい」という気持ちが様々な場面で表れていることは、本活動の成果といえる。しかしながら、複数回の交流または複数クラスとの交流は、先方の都合上、コロナ前のように難しくなっており、福祉学習のもち方を検討していく必要がある。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・各学年の取組について、学校ホームページ（毎日更新）や学校だより(逢中だより)でその都度紹介した。(不定期)